

授業科目名	空港業務論			担当教員名	小島 克巳	
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修／選択	2	3・4	秋学期	火・1	講義
授業概要						
<p>この講義では、空港におけるさまざまな業務を紹介し、航空機の運航が多くの業務によって支えられていることを理解してもらう。空港業務は多種多様であり、航空会社による旅客・貨物のハンドリングや機材整備などの業務もあれば、航空管制などの国による業務もある。1機の航空機が出発するまでには実に多くの人間がかかわっており、このうちひとつでも業務が滞ると航空機の定時性や安全性が維持できないことを理解してほしい。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港のさまざまな業務の内容や役割、重要性を認識してもらう ・ 日本や世界の空港についての理解を深める。 						
授業方法(展開)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に講義を中心として授業を行う。 ・ 理解度を確かめるために授業内で簡単な小テストを実施する（2回実施予定）。 ・ 授業の理解を深めるためにゲスト講師招聘や施設見学などを実施することがある。 						
関連科目・知識・スキル						
<ul style="list-style-type: none"> ・ この授業の履修者には「航空ビジネス論」、「現代航空事情」、「地域振興と航空政策」の履修を勧める。 						
成績評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度（30%）、小テスト×2回（30%）、学期末レポート（40%）で評価する。 ・ 積極的な発言や質問には加点するが、授業態度が悪い場合は厳しく減点する。 						
教科書・参考書など						
特に指定しない。必要に応じて適宜紹介する。						
履修上の注意事項						
特になし。						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

第1回：イントロダクション

第2回～第3回：空港に関する基礎知識、日本の空港と世界の空港

第4回～第11回：空港の業務（国内線）

- ・ 航空会社の業務（グラウンドスタッフ、ディスパッチャー、整備士、グラウンドハンドリングなど）
- ・ 国が行う業務（航空管制官、CIQ など）
- ・ その他

第12回～第13回：空港の業務（国際線）

- ・ 航空券の知識
- ・ CIQ 業務
- ・ 機内食工場
- ・ その他

第14回：空港会社の業務

第15回：まとめ

※ 授業の理解を深めるためにゲスト講師招聘や施設見学などを実施することがある。
(実施については授業の進捗状況や学生の関心度などをみて適宜判断する。)

学生への一言

一見華やかに見える空港ですが、実は私たちの目にしない場所で多くの人々が働き、日々の航空機の運航を支えていることを理解してください。